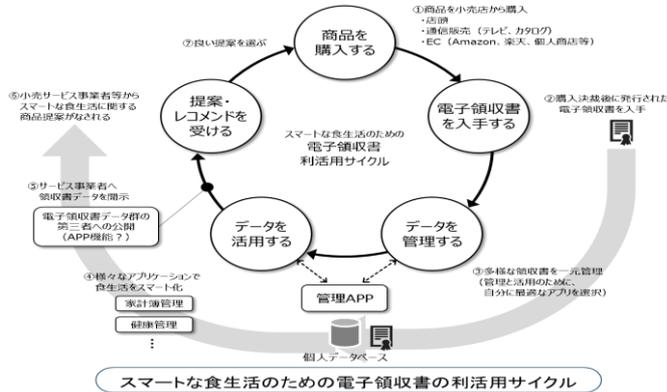
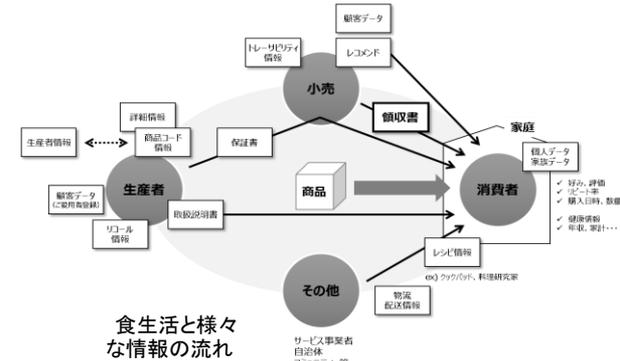
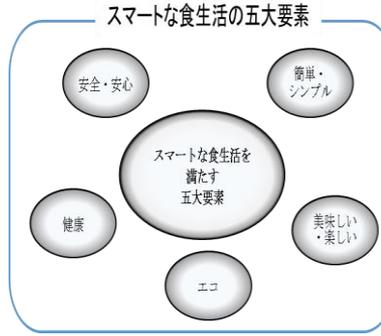


2. 「エコ社会の実現に向けた電子領収書の調査」の報告

事業目的

領収書の電子化や様々な情報の流通によって生じる可能性や課題について、食生活を題材に、特に、消費者の視点から、検討を行った。まず、理想の食生活として「スマートな食生活」を想定し、スマートな食生活の実現のために、IT技術の発達とともに発達する電子サービスや様々な情報をどのように活用できるかを幅広く考察した。

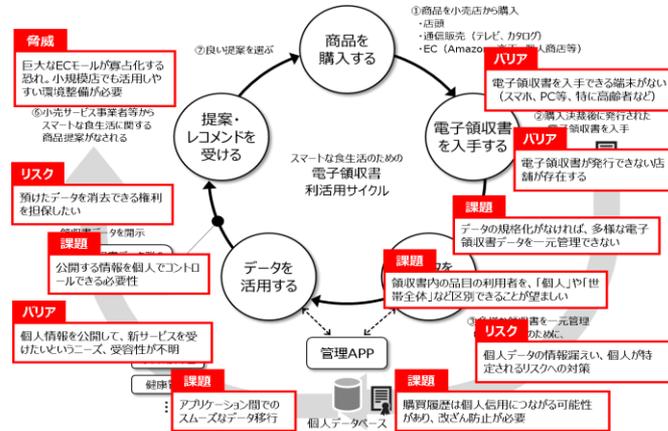


本調査研究の主題である電子領収書やそれに付加可能な様々な情報等をどのようにスマートな食生活の実現に活用できるのか、そして、そうしたスマートな食生活のための電子領収書の利活用サイクルにはどのような課題、リスク、バリアが存在し、そうした課題等の克服のためにはどのような施策が考えられるのかを検討した。

事業概要

事業まとめ

電子領収書、そして、様々な情報の活用は、スマートな食生活の実現のために様々な可能性をもたらすものであるが、そこには克服しなければならない課題等も存在する。電子領収書等を真に消費者の利益となるように活用するためには、そうした課題等にしっかりと向き合い、必要な施策を講じていくことが重要である。



利活用サイクルにおけるリスク、バリア、課題